

横瀬町立横瀬小学校校舎整備検討委員会 第3回検討委員会概要(平成30年9月13日)(横瀬町役場302会議室)

○次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 審議事項
(1)町民ワークショップ結果報告
(2)校舎建築基本構想
・基本構想キーワード
(3)配置計画・施設規模
(4)その他
4. 閉会

○あいさつ (委員長)



第1回町民ワークショップの結果を報告しますので、各テーマについて皆さんで議論を深めていただきたい。校舎配置について改めて評価し、案の絞り込みの作業をお願いしたい。

○町民ワークショップ結果報告

9月11日に開催した第1回町民ワークショップの概要と皆様方いただいた意見の取りまとめ結果について、委員長より報告がありました。



町民ワークショップでは、様々な職業や年代の方々が4つのテーマ（教育・安全・地域・文化）について話し合い、それぞれについて意見を出し合いました。

○校舎建築基本構想 ○配置計画・施設規模

3班に別れ、基本構想に必要なキーワードについて検討し発表しました。また、7つの配置計画案について評価し結果を発表しました。

○基本構想キーワード検討（第1班）

- 「教育」
 - ・子どもが楽しく学べる校舎
 - ・開放的なイメージの教室
- 「安全」
 - ・子どもが安心できる環境、防災対策
 - ・セキュリティの充実、コンパクトな導線
- 「地域」
 - ・横瀬のシンボルになりうる校舎
 - ・地域開放を広げすぎない
- 「文化」
 - ・武甲山をデザインに
 - ・山ということで木材を使用



○基本構想キーワード検討（第2班）

- 「教育」
 - ・校舎の一体化、集約
 - ・子どもが主体的に学べる環境（図書館等）
- 「安全」
 - ・管理しやすい昇降口、広い廊下
 - ・保守点検がしやすい施設
- 「地域」
 - ・地域利用を踏まえたゾーニング
 - ・地域の人が利用できる避難所、保育所等
- 「文化」
 - ・横瀬産木材の利用
 - ・地域芸術の認識、武甲山の眺望



○基本構想キーワード検討（第3班）

- 「教育」
 - ・ICT化、自然エネルギーを使用した冷暖房
 - ・和式トイレは1箇所でも残したい方がよい
- 「安全」
 - ・災害、犯罪時の避難の容易さ
 - ・凸凹、陰のない校舎
- 「地域」
 - ・児童数減少を考慮して地域利用への転用
 - ・地域の素材、業者を活用
- 「文化」
 - ・町のシンボルとしての建物
 - ・あまり派手なものはいらない



○配置検討・施設規模の検討

- ・7つの配置計画案について各班で評価した結果、次の4案に絞り込まれました。
- ①新校舎を体育館の南側に建築
- ②新校舎を現在の位置に2段階で建築
- ③新校舎を現在の位置に建築
- ④第1校舎を移設し、その場所に建築

○その他（質疑応答）

- ・第1校舎を残す方向で検討してきたが、解体や移設なども含めてより深く検討してほしい。
- 文化的な価値や教育のシンボリックな建物として残すことを前提で検討してきましたが、様々な意見がありますので、検討委員会としての意見をしっかりといただきたい。
- 移設の可能性について検討するため、技術的な問題やコストについて情報を収集する。
- ・現在4年生が第1校舎を利用しています。子ども達にとってその1年間が価値としてあるのであればそれも踏まえて残していただきたい。